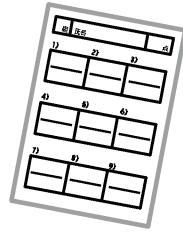


河西便り



第11号 12月全国学調の結果と
2学期終業式号
2021.12.
河西中学校

令和3年度全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組

＜調査内容＞ 実施日：令和3年5月27日(木) 実施対象：3年生 4学級 119名

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し次のとおりとする。①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

＜教科調査の結果分析＞

＜国語科の調査結果に見える本校生徒の傾向＞

■課題①「何をどのように書けばいいのか」

記述式の問題が4問出題されており、どの問題も無回答率が10%を超えた。4問のうち、県と全国の平均よりも正答率の高い問題が1問あったが、残りの3問は約10%低い結果となった。

■課題②「見方や考え方、自分の考え」

3四の問題は「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」という記述式の問題である。この問題の無回答率は41.5%であり、かなり高い割合であった。

しかし、正答率は県と全国の平均よりも5%～7%高い結果となった。

■課題③相手や場に応じて敬語を適切に使う

4三の問題は、「相手や場に応じて敬語を適切に使う」という趣旨の問題である。無回答率は県と全国の平均よりも8%高く、正答率も約20%低い結果となった。敬語に対する理解度が低く、適切な敬語に直すことが苦手であると考えられる。

＜数学科の調査結果に見える本校生徒の傾向＞

■課題①「記述を行わない問題」への課題

■課題②「図やグラフ、表を読みとりながら解答を導いていく問題に取り組む」

無回答率の高い問題は、記述式の問題が多い。また、その問題は、問題文も長く、文章を最後まで読解できていない可能性も考えられる。

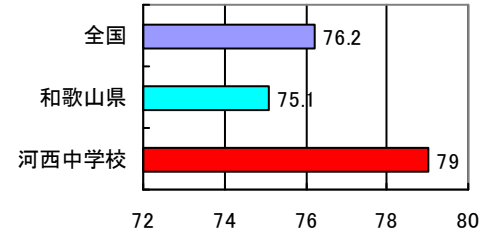
■課題③「～は～の関数である」

全国、和歌山県では無回答率が10%を下回っているが、河西中では20.3%である4の問題は、関数の意味を問う問題であるが、表やグラフなどの問題を解く力はあるが、関数とは何かという根本的知識がたりない。

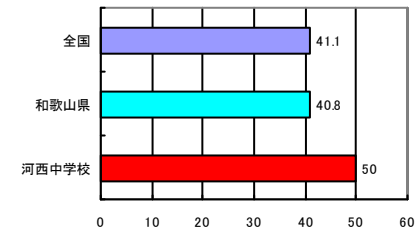
＜質問紙調査の結果分析＞

○本校生徒の強み

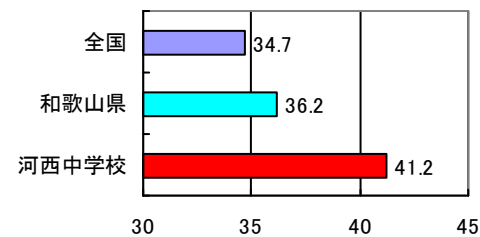
(1) 自己肯定感



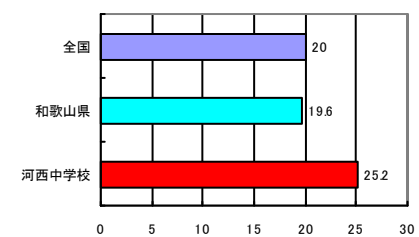
(2) 人が困っているときは進んで助けている



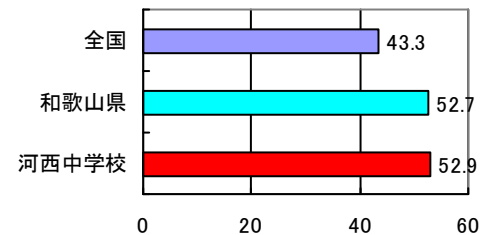
(3) 自分で決めたことはやり遂げる



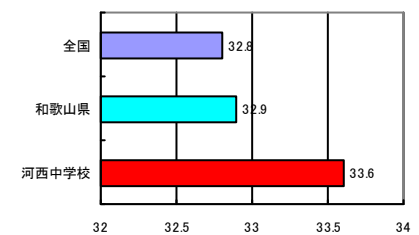
(4) 難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する



(5) 学校へ行くのは楽しい

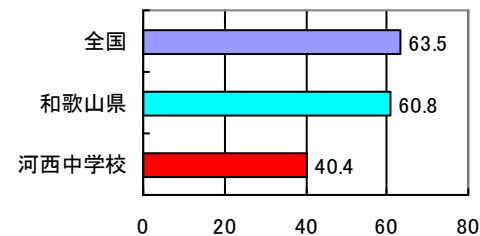


(6) 自分の思っていること感じていることを言葉で表すことができる

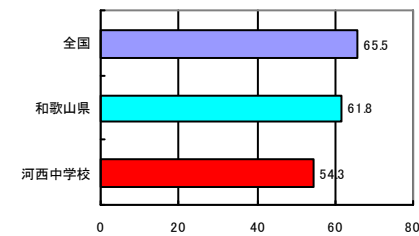


○本校生徒の課題

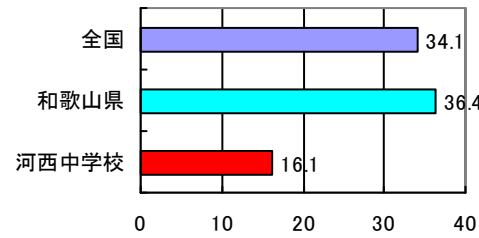
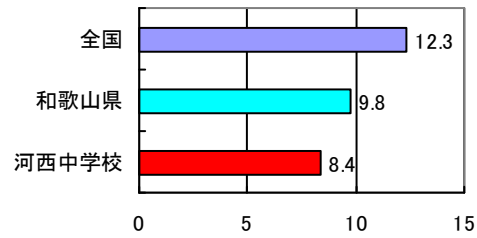
(1) 家で計画を立てて勉強をしている



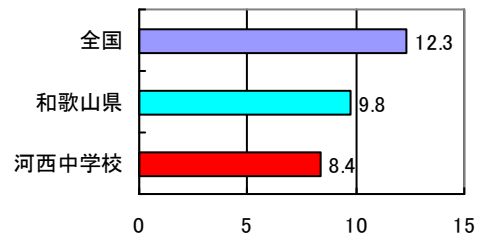
(2) 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか



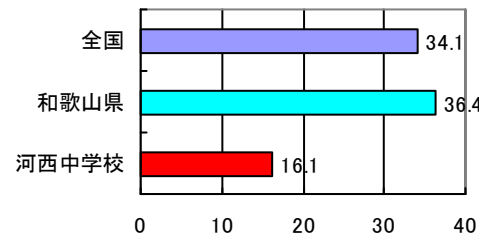
(3) ①授業以外の勉強時間 3時間以上 (4) ②授業以外の勉強時間 1時間以上2時間未満



(5) 道徳 自分の考えを深める
学級やグループで話し合う



(6) 学級活動での話し合い
意見のよさを生かして、解決方法を決める



《調査結果を受けて、本校が取り組んでいくこと》

自己肯定感(自尊感情)、自己有用感、規範意識、いじめについての意識の高い生徒、「早寝・早起き・朝ごはん」といった基本的生活習慣の身についた生徒の割合が全国平均より上回っていることが本校の強みと考えています。

しかしながら、家庭学習に関しては、家庭(塾等も含む)で2時間以上勉強できている生徒が多い反面、家庭で全く勉強しない生徒の割合が非常に高く二極化の傾向にあります。また、「朝の読書の時間」を実施しているが、全く読書をしない生徒の割合が多くあることも本校(生徒)の学力向上の課題であると捉えています。

聞く力、表現力、理解力等は日々の授業の積み重ねによるものであり、授業改善に一層取り組んでいかなければと考えます。

本校では、授業改善・学校改革として、授業を「教える」から「学び考える」に、生徒の姿を受動的な姿勢から主体的・能動的な姿勢に変えるため「中学校における《学び合いの授業づくり》」に取り組んでいます。従来の教師主導の一斉授業からグループ学習による学び合いを取り入れることにより生徒同士で聴き合える関係を作り、「わからないから教えて」と言える授業スタイルに転換を図ろうとしていますが、この調査結果からまだまだ定着していないこともわかります。「学び続ける子供は崩れない」と言われています。今後もこの《学び合いの授業づくり》の研究と実践の取組を継続し、学校全体で取り組んでいきたいと考えます。

～2学期の終業式を迎えるにあたり～

「人の話を聞いて、自分を見つめ直す」

早いもので、12月24日で2学期の学習を終わります。たくさんの表彰伝達もあり、中体連や各種大会コンクール、マラソン大会や文化祭等、コロナ禍で制限がある中で、一生懸命取り組む生徒の姿が見られて、充実した2学期だったと思います。まさに河西中のよい伝統が少しずつ積み上げられています。

しかし一方で、人間関係のトラブルや、SNSの利用による問題など、気になる面もみられました。学校生活の中で、ルールやマナーを守ることや友達と力を合わせて学習することなど、これからも、生徒みんなで考えて改善して欲しいと思います。

「友達とのより良い関係をつくっていくのは、相手に何かを求めるのではなく、自分自身の心の持ち方がとても大事だ。人を責めるのではなく、人を認めていくこと、人に認めてもらうことが大切」そして、「人の話を聞いて、自分を見つめ直す」大切さを改めて感じました。

再度、一人一人が自分自身を振り返って考えてみて欲しいと思います。いろんなことがあった2学期でしたが、良かったことは、さらに伸ばしていき、改善すべきことはみんな考え改善にむけ実践していくことが大切です。

～行事予定～

- 12月24日(金) 終業式
- 12月28日(火) 仕事納め
- 1月4日(火) 仕事始め
- 1月6日(木) 始業式
- 1月7日(金) 3年実力テスト
- 1月10日(月) 1、2年課題テスト
- 1月10日(月) 成人の日
- 1月12日(水) 3年学年末テスト発表
- 1月19日(水) 3年学年末テスト①
- 1月20日(木) 3年学年末テスト②



(3年生進路説明会)



(研究授業の風景)



(学年体育大会 2年生)